

## 農機8台初荷 安全第一に



J A筑紫は1月8日、筑紫野市の農機センターで、2021年農機初荷出発式を行いました。購入された農機具で作業が安全に行われるように祈願しました。

組合員で構成する農機情報員やJ A関係者など16名が参加。真新しい田植え機やトラクターなど8台の農機が、のぼりが飾られたトラックに積まれました。当日は天候により式のみ執り行い、農機具は後日組合員のもとへ届けられました。

萩尾経済担当常務理事は「今後も組合員の要望に迅速に対応し、J Aの信頼に繋がるように仕事に取り組んでほしいです」と話しました。

## 卒業生の圃場を視察



J A筑紫ちくし農業塾の塾生は1月20日、視察研修を行いました。農業塾の第10期生7名や講師の室園正敏さん、J A担当者が参加。生産者で卒業生の中西さんと、J A青壮年部の石橋利之さんの圃場を視察しました。

生産者は、播種時期や栽培技術、追肥の仕方などを説明。塾生から、オススメの品目や収益などの質問が挙がりました。

中西さんは「農業は興味深くて、とても楽しい！これからもJ Aや農業の先輩方に教えてもらいながら、農業を学んでいってほしいです」と話していました。